

ハートフルコンサートinしまね2017



自衛隊島根地方協力本部(本部長 1等陸佐 長谷川 敬)は、平成29年12月17日(日)松江地区防衛協会(会長 金津任紀氏)が主催する音楽演奏会「ハートフルコンサートinしまね2017」を支援しました。

毎年島根県では、陸海空各音楽隊の支援を受け県内各所で音楽演奏会を開催していますが、このコンサートは年内最後のコンサートであり、締めくりに相応しく最多の観客数を誇るものです。

今年は3年ぶりの出演である海上自衛隊 呉音楽隊、そして初出演の松江工業高等専門学校ということもあり、鑑賞希望者からコンサート当日まで入場整理券についての多数のお問い合わせをいただきました。

コンサート前日の16日には共演校の松江工業高等専門学校の吹奏楽部員37名、音楽隊の隊員32名が一堂に会しパートごとに分かれての演奏指導が実施されました。音楽隊員と接するのは初めてという生徒さんがほとんどで、当初緊張気味だった部員さんたちも隊員と会話するうちに打ち解けてきたようで、最後の合同演奏の練習に移るころには笑顔も見られ、翌日のコンサートに向けて良いコミュニケーションがとれたようでした。

コンサート当日は、天候に恵まれ開場の2時間以上も前から並びはじめるお客様もあり、約1600席の会場はみるみるうちに席が埋まるという大盛況ぶりでした。



「第1部前半 学校による単独演奏」では満員の観客に当初緊張気味でしたが、日頃の練習の成果を発揮し部員自らの指揮で若さあふれる演奏を披露してくださいました。また休憩時間を利用した「学校紹介」では、工夫を凝らしたオリジナルの説明を会場のスクリーンに投影するなど工業高等専門学校らしい演出をしました。

続く第1部後半の呉音楽隊長 野澤健二1等海尉の指揮による単独演奏は、「ディズニー・コンサート・オープナー」で会場の各所から楽器ごとに現れては着席、という演出から始まりクリスマスソング、ジャズナンバー、小林亜星ヒットメドレーでは隊員の工夫を凝らした曲紹介が会場を沸かせました。

第3部合同演奏では松江高専が参加し「薄紫の山脈～島根県民の歌」では会場も一緒になって歌い、「目覚めよと叫ぶ声あり!」「エル・クバンチェロ」で大いに盛り上がりました。アンコールを求める会場からの声にこたえて「アルセナール」を終えると、野澤隊長が演奏会にあたり自衛隊との調整を一手に引き受けてくださった吹奏楽部部長の松本大樹さんをステージ上で紹介すると、本番までの多岐にわたる調整と想いがこみ上げて思わず涙した松本部長を満員のお客様が暖かい拍手でねぎらってくださいました。呉音楽隊による伝統の「軍艦マーチ」が演奏され、ロビーでお客様を見送る部員さん・隊員には「素晴らしい演奏をありがとうございました。」「演出が最高でした。」「来年は出演校として演奏したい。」等多くの感想をいただき、終宴後もしばらくの間2時間に及ぶコンサートの余韻が冷めきらない様子でした。

島根地本では地元の学生さんや県民の皆様に自衛隊への親しみを持ってもらい、より多くの方々に様々な活動をアピールするとして、島根県内でのコンサート支援を今後も行っていきます。



自衛隊島根地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE SHIMANE Provincial Cooperation Office

12月16日(土) 前日練習編



合同演奏等の練習場所の
松江工業高等専門学校に
到着した 海上自衛隊
呉音楽隊



練習開始前の顔合わせ



楽器ごとの練習

体育館に再集合し、合同演奏の練習・・・
寒かったですね



ハートフルコンサートinしまね2017

12月17日(日)
開演まで



コンサート当日朝は降雪がありました。



リハーサル前に関係者一同で入念な確認を。



受付班・会場整理班などが打ち合わせ中



広報ブースの設営



開演前アナウンスをする総合司会者 石原さん



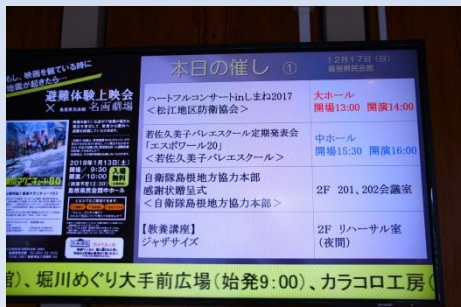
スクリーンチェック



松江高専 指揮者さん(緊張中) & 総合司会者 石原さん & 前広報室長 河崎1尉



自衛官募集広報コーナー



舞台ソデで出番を待つツリー



暗闇で出番を待つ学生指揮者

ハートフルコンサートinしまね2017

12月17日(日) 1400 開演
♪松江高専 ♪呉音楽隊 単独演奏



主催者（松江地区防衛協会 会長 金津任紀氏）による挨拶



松江高専による単独演奏



吹奏楽部 松本部長による
学校紹介



会場の各所から登場する演出



曲にあわせ工夫をこらした演出(パ・ニーズ・グラフィティ「～小林亜星作品集」)



「アイ・ガット・リズム」クラリネットソロ

ハートフルコンサートinしまね2017

呉音楽隊 & 松江高専 合同演奏



合同演奏曲は「島根県民の歌」、「目覚めよと叫ぶ声あり!」「エルクンバンチェロ」、ソング「アルセナール」の4曲



花束の贈呈



野澤隊長から松本部長の紹介



呉音楽隊のソング曲「軍艦」



音楽隊・高専生による見送り

「ハートフルコンサートを終えて」

国立松江工業高等専門学校

吹奏楽部部长 松本 大樹さん



今回、私たちはご縁があって自衛隊の皆様方と大きなコンサートに参加させていただきました。最初にお話をいただいたときは思いがけなく嬉しいご依頼に驚きました。私たち松江高専吹奏楽部は他の団体の方々と演奏する機会があまり多くなく、初めはどのような曲が今回のコンサートにふさわしいものか悩みました。また、私たちの活動は基本的に学生のみで行っており、今回のコンサートでは選曲から会場設営まで大忙しのイベントとなりましたが、演奏面を含めさまざまな面で成長することができたと思っています。

前日練習で初めて呉音楽隊の方々にお会いした時は緊張を隠せませんでした。親しみ深く教えていただいたおかげでスムーズに練習を終えることができました。また、本番では私たちが演奏のトップバッターとしてステージに上がり、初めはお客さまの多さに圧倒されてしまいましたが、部員一人一人が全力で演奏しました。最後の合同演奏ではソロの場を設けていただき、かつてないほどの喝采を浴びたときには涙を禁じえませんでした。本番を終えた後、部員たちから「一生の思い出になった」「またこんなステージに立ってみたい」と言われ、部長としても個人としても今回のステージに立つことができ、本当に良かったと思うと同時に、これからの私たちの活動をより良いものにする決意ができました。

私たちが本番までに行ってきた行動には成功もあれば失敗もありました。良い演奏をするためには何が必要なのか、そのことを学ぶことができたのが大きな収穫です。今回のコンサートは自衛隊の方々の活動に私たちが参加させていただく形でしたが、今度は自分たちだけで良いステージを作り、より大きな喝采が得られるよう、日々努めていきます。

この度、ハートフルコンサートinしまねに初出演をしてくださった国立松江工業高等専門学校の吹奏楽部部长松本大樹さんから寄稿文をいただきましたのでご紹介いたします。松本部長は学校の代表として島根地本及び音楽隊との調整をしてくださりました。学校の試験や実習、そして自分の練習もしながらの調整は本当に大変だったと思いますがリーダーシップを発揮して素晴らしい演奏会を作り上げてくださいました。